

## 岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 5 月分）

### 【景況感】

景気は緩やかに回復している。

### 【製造業】生産、売上は、輸送用機械関連を中心に改善

○製造業全体では輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送用機械関連を中心に受注や生産は好調を維持している。

### 【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

○木工では住宅着工増により好調な状況が続いているが、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

### 【消費】消費税率引き上げに伴う駆け込み需要とその反動が見られる

○消費増税の駆け込み需要の反動が見られ、食料品は回復基調にあるが、それ以外については想定よりも回復がやや緩やかな状況にある。家電については少しずつだが盛り返しを見せている。衣料品については天候の影響もあり低調な動き。

### 【観光】インバウンドは台湾や香港、東南アジアが引き続き好調

○施設によってバラつきはあるものの宿泊客総数は概ね前年並みを確保した模様。インバウンドは台湾やタイ、マレーシアなどが引き続き好調。

### 【雇用】業務量が増加し人手不足が発生している企業がある

○特に、製造業で、生産量の増加に伴い人材の確保に努める企業が多数見受けられる。学卒者の就職率は最近 6 年間で最高値まで上昇した。

### 【設備投資】設備投資意欲が増加し、実績も増加傾向

○設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加、投資実績全体も増加している。設備投資意欲DIは改善傾向が続いている。

### 【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

○企業の資金繰りは横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は低調だが下げ止まりの兆しが感じられる。